

## 第 451 番 組 審 議 会

1 . 日 時 平成 22 年 2 月 16 日 ( 火 ) 午後 1 時 30 分 ~

2 . 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室

3 . 委員総数 13 名

出席委員 8 名

出席委員	委員長	橋田 純一
	副委員長	佐藤 晴久
	委員	清野 雅子
	委員	宮 勉
	委員	千葉 幸長
	委員	望月 善次
	委員	坂本 修
	委員	柴田 和子

欠席委員	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸
	委員	森本 雅司
	委員	安藤 茂
	委員	福田 泰司

社側出席者	矢後 勝洋 ( 代表取締役社長 )
	石井 修平 ( 専務取締役 )
	阿部 孝夫 ( 常務取締役 )
	菅野 智 ( 営業局長 )
	野田 喜代志 ( 報道制作局次長兼制作部長 )
	桑島 広実 ( 報道制作局制作部主任 )

事務局	山信田 寧 ( 編成技術局長 )
	畠 義真 ( 編成技術局編成部長 )

#### 4. 議 題

1. ISM (イズム) ~ 2010・岩手を熱くするアスリートたち ~  
1月30日(土) 15:30~16:25 放送
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

#### 5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

#### 6. 議事の概要

##### 委員側意見

- ・ 岩手の若いアスリートたちがスポーツを始めてから現在までの期間でさまざまな挫折にあいながら成長した部分が放送され、若い人たちに夢や希望を与えて非常に共感を呼ぶ番組だったと感じています。
- ・ 今オリンピックもやっていますが、スポーツはどうして人の心を明るくするのかということをおもいました。8人がそろそろ元気が出るなと思いました。
- ・ 時間配分からするとアスリート間に濃淡がありすぎたと思いました。8人を押し込めようとしたとも見受けられ、若干窮屈さを感じました。
- ・ 若い人たちからいろいろな言葉が出てきていて、そこから勇気とか元気とか方向性とかを学ぶことができるのではないかと思いました。中学生・高校生に見せたい番組というか、教材に使ってもいいのかなと感じました。
- ・ 1年間ずっと取材をしてきたということなので、菊池雄星くんもアナウンサーを信頼し安心しているのではないかということを感じました。これからも岩手のテレビ局としてたくさん取材してほしいと思いました。
- ・ アスリートたちが混在していたようでもう少し整理をして、今回は若い人たちに焦点をあてよう、次は実績のある人たち、というように取り上げていけばよかったと思いました。
- ・ 8人を同じ構成では飽きてしまうので、この人にはこういうポイントでというテーマがもう少しはっきり見えるようにしたらもっとメリハリがついたかなという気もしました。

## TVI 側

- ・ 来年は是非 1 時間半で番組にしたいと思っています。今回はルーキーズが中心ですが、昔の人を取り上げるコーナーも入れながら岩手のスポーツを取り上げていきたいと思っています。
- ・ 多角的な取材をして人となりをわからせたいなという反面、あんまりドキュメンタリーになってしまい引き込まれてしまうというのも番組の意図に反することだったのでそのバランスが見ている方にとっては半端な感じがしたのかなと思います。

## 7. 審議内容

別載のとおり

## 8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

## 9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成 22 年 3 月 2 日(火)午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開

